

経営比較分析表（令和3年度決算）

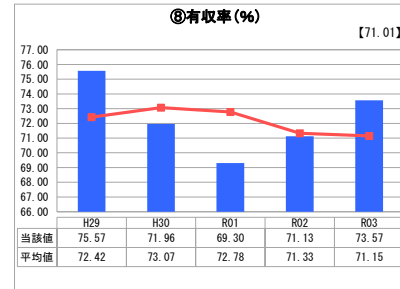
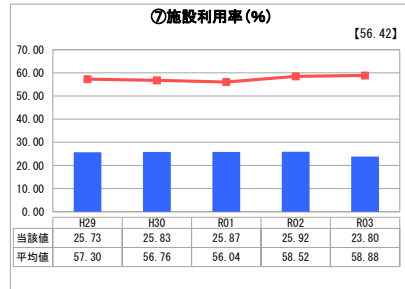
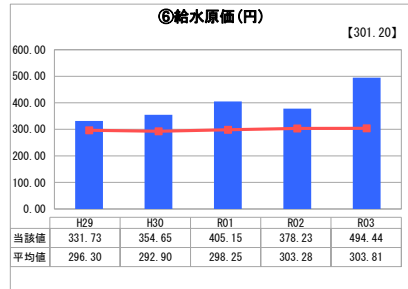
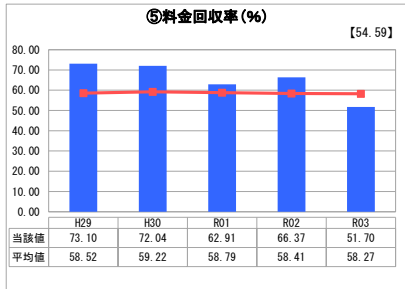
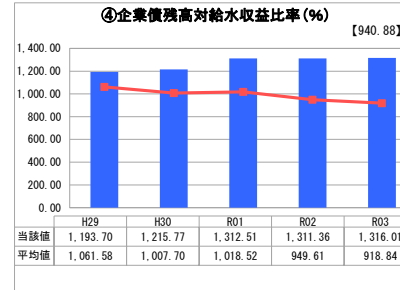
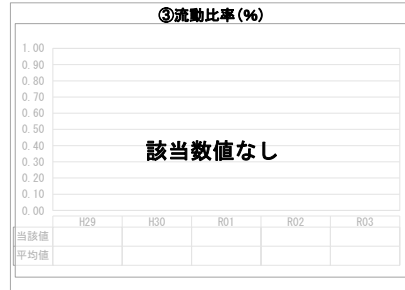
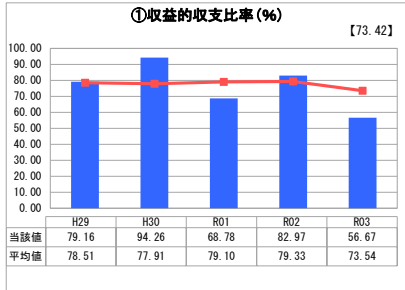
島根県 川本町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客塵料金(円)	
-	該当数値なし	88.52	4,180	

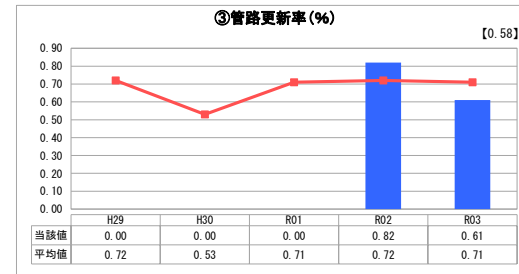
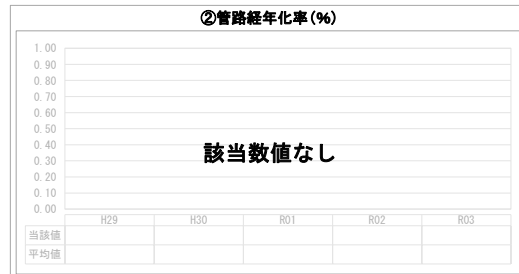
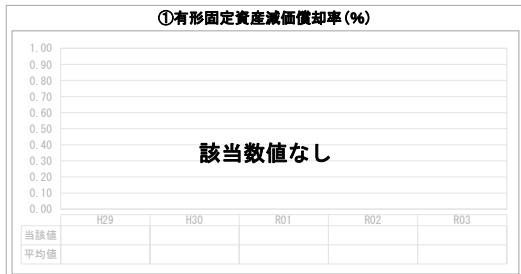
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,162	106.43	29.71
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,713	14.85	182.69

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、企業債償還金の増加に伴い前年度より低下している。
 企業債残高対給水収益比率は近年横ばいとなっているが、類似団体に比べると高い状況である。建設改良事業（施設改良）を起債事業で実施しているためである。
 料金回収率は類似団体に比べ低くなっており、給水に係る費用を給水収益以外の財源で賄っているため、今後、適切な料金体系に見直す必要がある。
 給水原価が高くなってきているのは、企業債償還金の増加及び有収水量の低下が原因である。
 施設利用率が類似団体に比べ低くなっているのは、施設規模は以前の上水道事業時と変わっていないものの給水人口が著しく減少しているためである。
 有収率は類似団体に比べ同程度ではあるが、依然低い状況であるため、有収率向上に向け更なる対策を講じる必要がある。

2. 老朽化の状況について

管路については、概ね更新は完了しているが、構築物（浄水場等）については耐用年数が近づきつつあるため、今後、適正な更新計画が必要となる。

全体総括

給水人口の減少の中で、料金収入の大幅な減少が予測されることから、今後の維持管理運営は基より建設改良の投資については、より計画的に進めていく必要がある。
 料金改定についても早急に進めて行く必要がある。